

全関東遊技業組合連合会 「定時総会」が山梨にて開催!

山梨県遊技業協同組合(大森武正理事長)が会員となっている全関東遊技業組合連合会(青松英和会長)が、去る7月12日、山梨県富士吉田市にある「ハイランドリゾートホテル&スパ」に於いて、第24回定時総会及び祝賀会が開催された。当日は各県より約150名の出席があった。当連合会は、山梨、長野、埼玉、千葉、静岡、新潟、栃木、茨城、神奈川、群馬の各県遊技業協同組合を会員として組織されている団体である。本年は山梨県に於いて開催された。



挨拶する青松会長

当連合会では、会員相互の情報交換及び親睦交流、情報提供事業等を行っている。本定時総会においては、「平成23年度の事業報告及び収支決算報告」、「平成24年度の事業計画案及び収支予算案」、「総会宣言案及び総会スローガン案」について話し合われ、全て原案のとおり可決決定された。

その中で、総会宣言については、東日本大震災における募金活動やボランティア活動、また節電対策に真摯に取り組んできた中で、今後も社会的要請やお客様の声に耳を傾け、組織の総力を挙げてそれらを反映した取り組みを推進していくことが確認された。

その後、本会内藤会長らが招かれた祝賀会が開催された。県外から来られた来賓や当連合会関係者の方々は、山梨の味に舌鼓を打った。また、出席者の方々には山梨の名産である郡内織物にて製造された雨傘が贈られ、出席者の方々に大変喜ばれていた。さらに、翌13日には親睦交流事業として富士山観光及び親睦ゴルフ大会が開催された。皆、親睦交流を楽しみながら各県の状況等の情報交換を行っていた。



祝賀会の様子